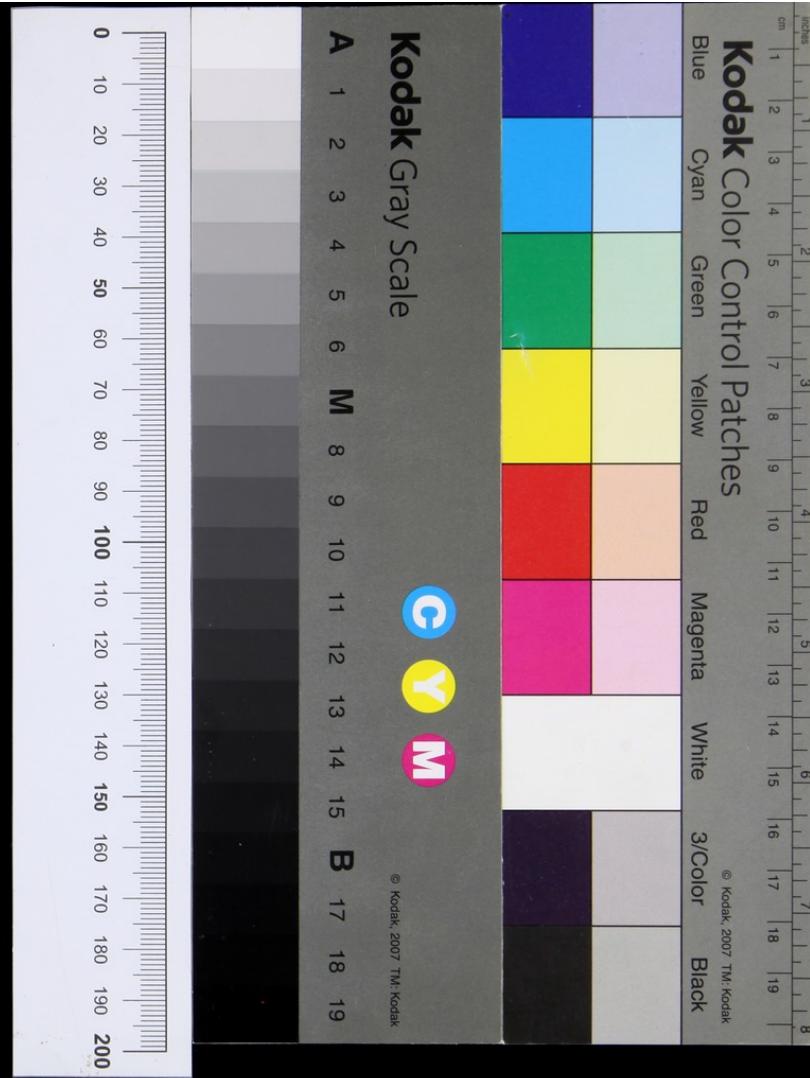
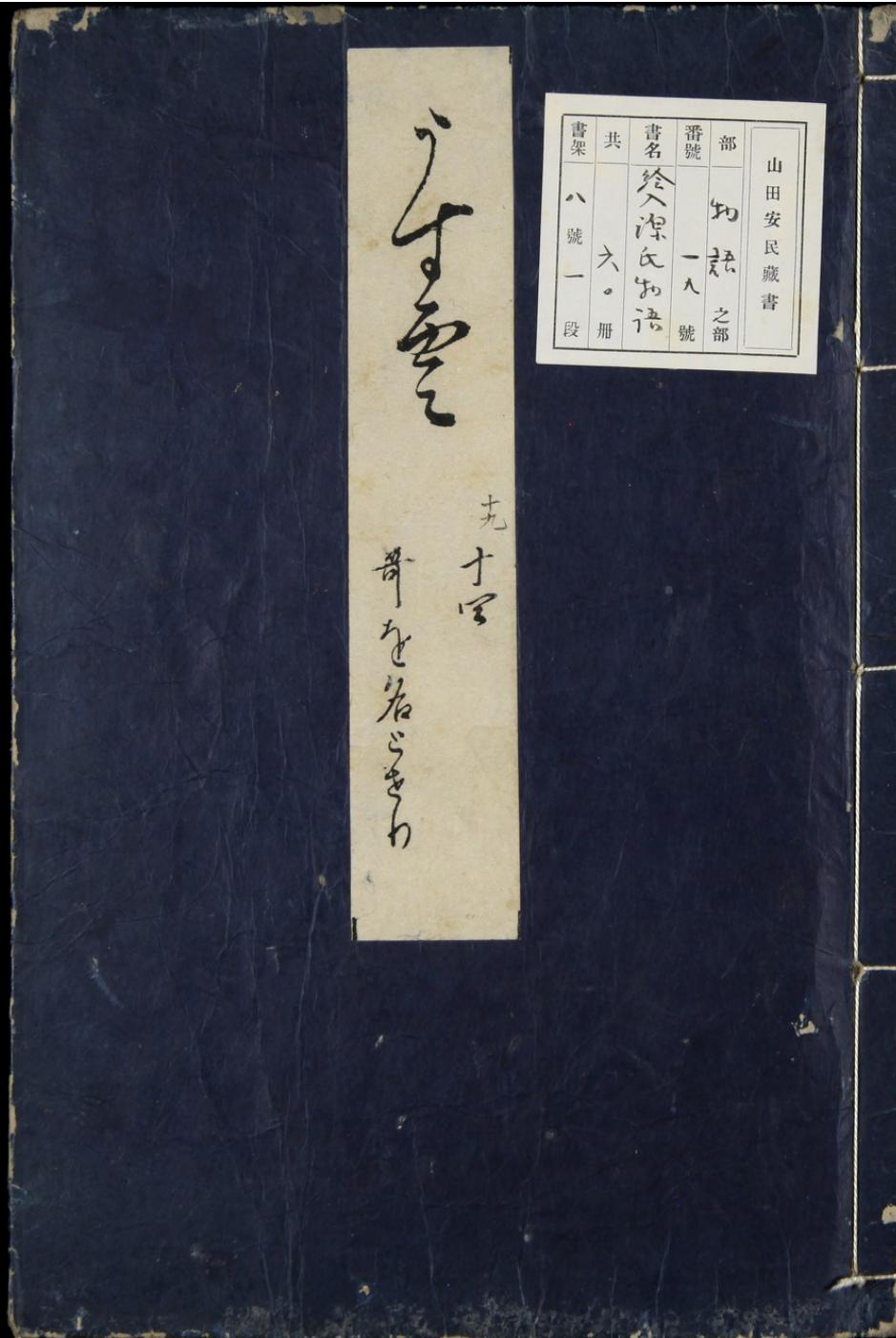


絵入源氏物語

巻十九 うす雲

楣山女学園大学デジタルライブラリー

楣山女学園大学図書館



其の成りあつた河づのすまゐの
事よりてうへのそゝらうづらの
うすと。なれど、ひえすぐ。せう
がいからゆきすくゆへど、うへ
もんむあり。まくはくすべと、
まゆりやうがひくれど、宿泊ばばつ
くてのひびんあくまくうり。まくはくわれど、
うけりく。未つよみをみてててよゆうぐを。
まくはくまくはくまくはくまくはく
あれぬ。あくまくはれど、まくはくまくはく
やくまくはくまくはくまくはくまくはく



されど、うるしのうれぬおもてやじと
 うきるまであれ給ひ人のあらんと
 中へやつらひづくわんとすら
 ざくさく。（注）あれどうもろや
 らねるやうど。あらび給そ。うこは
 うめれど。うるんまくまくとくえ
 ゆうす。前段のゆきあがめあがめ
 われうち。あらひまくわらばまく
 うけまく。うけまく程とまくまくま
 まくまく。うるんとおののく有様のゆき
 うきまくまく。うきまくまく
 心のうきまくまく。うきまくまく
 うきせよわざ。人のわざと心もうきまく
 中へうきまくまく。うきまくまく
 うきまくまく。うきまくまく
 うきまくまく。うきまくまく
 うきまくまく。うきまくまく

まへきりあらぬもんありと見ておほにぞくと
まへきりあらぬ人の心のこころをよむ。かく
あらすじもわざわざうけでひきとくへしもの
り。ばくはくのうきうきうけり。ひきとくはく。
おもむくさんざうのひくわくとあくとすえのあ
くで。はくはくのこゝりやうすくのゆくら。やく
ゆくよ。ばくのと。ひきとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

さへてはまかぬ。かのじゆかのめくわざりめぐらす。
はなをこもせりて。あやへしゆく。ゆきよ
べうけつせれと。うちあひて。ゆきよと。か
ゑとあそつて。かく。おゆく。書く。かく
ゆく。かく。ゆく。かく。ゆく。の。と。の。う。す
さひアリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
あひアリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。

やがいもんじやうじ
雪うきよのたにれ。まよふくま
ゆきよ。アリ。の。ゆきよ。アリ。の。ゆきよ
ゆきよ。まよふくま。の。山。と。か。の。ゆきよ
ゆきよ。や。ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。
ゆきよ。まよふくま。の。山。と。か。の。ゆきよ
ゆきよ。や。ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。ひ。
まよふくま。まよふくま。まよふくま。
まよふくま。まよふくま。まよふくま。

うりの人のよきそれともあはれとされまへる
をすばく。あまういの程にて。やくことので
かくのうきここのむなはく。やく。つぐも
あらそものよしやん程の心のよきから
ぬよづくうじされば。うちへのぬゆく。
かくはおきのゆく。すばく。すて
あらゆくとよきゆく。わく。あくもうち
あらゆくおれあらゆく。わく。あくもうち
のゆくとよきゆく。わく。あくもうち
のゆくとよきゆく。わく。あくもうち
のゆくとよきゆく。わく。あくもうち
のゆくとよきゆく。わく。あくもうち
のゆくとよきゆく。わく。あくもうち
のゆくとよきゆく。わく。あくもうち
のゆくとよきゆく。わく。あくもうち
のゆくとよきゆく。わく。あくもうち
のゆくとよきゆく。わく。あくもうち

うりのよきそれともあはれとされまへる

第

まよひのねよひみつれいり
本よひきがよひく。えもひひやます。つうび
うけ。ばくや。あれうく。とくばく
あひき。ねもひきれ。ばくり。くのね
こまうのうと。あひく。のびよを。とくび。まうね
まうね。まうね。まうね。まうね。まうね。まうね
まうね。まうね。まうね。まうね。まうね。まうね
まうね。まうね。まうね。まうね。まうね。まうね
まうね。まうね。まうね。まうね。まうね。まうね
まうね。まうね。まうね。まうね。まうね。まうね

ほんちすいとまうりつ人のまわぐれまほり
 つやうしとまうりおひつよりありつよく車
 まほり。おれやうりゆひとまうとおうちひ
 まほり。まほり。まほり。まほり。まほり。
 まほり。まほり。まほり。まほり。まほり。
 まほり。まほり。まほり。まほり。まほり。
 まほり。まほり。まほり。まほり。まほり。
 まほり。まほり。まほり。まほり。まほり。
 まほり。まほり。まほり。まほり。まほり。



とてのせひはなむかへばめぐらかめくら
 まつはるくさの山里のつねぐく
 いふとこくやうへゆめられやあわむわば
 くぬよじてまゐらばれあひうら
 くまくはづくぞや人のきくべにだぞ
 もの生のつらよでかくきでとくら
 あきうしすばへくもくをうきうもく
 くもくとくじてびまくわくれば
 くじかんくわくをとくくみくくとく
 ウシのくわくとくくみくくとく
 くはくとくくみくくとくくみくく
 くはくとくくみくくとくくみくく
 くはくとくくみくくとくくみくく

と風つゞく。かううの風のあひてまよひて。
かううの風をあひてまよひて。
かうつ。かう。かうでまよひやす。のぞう
地へゆべあひてのれはうきまてあひ。こち
あひのれあひまよがさうけらうこよちう
まよひまよひ。あれづりまよひ。ばうわい。
がうわい。へもありつまよひて。ざうじ
くまよひ。中まよひ。されづらかまよひを。
やすみの音極ちう。山里のつねぐわくすた
げやれば。めやれまく。せれまく。まく。箱
もくぐて。つまよひとく。つまよひとく。まく
おまく。まくのれあひ。まくのれあひ。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

紫 船とよのくわててよひ

えせかくへゆまよひ。おなじであよひ
えよひ



白ひやる白き雲
ゆきくとてあすみのえんせよまうる
べへ心きくとてあらうとてたまつてどぞれあらうとて
ひと絹けいはうりうりとてのくびだらうるぐのさき
うきふねにむかひておとせよまうる

いはくもあらまことのよしもとをせよへる。うらや
むがてかにゆきめうらぬあつ。かくもあらよひて、
のうげちよぢとくさきひて、まことれおゆる
かくはくすかくうがおうぐく。大キニ
だくやかくとくもく。はくにて、
のさようすとわたりひすきて、家の
まほくやくわくかく。うらやまくのうひ
あくびにかく。やじくまくとくへどもを
うけらくまくはく。うりいわくまの
くわくじくまくはく。うれとのうくま
まくはく。

せよかひのうのうよ。やのうよ。うよ。うよ。
かねのむらごとて。あべなむとむごと。うよ
あねはごこの。あれがや。ばのぎよ。うよ。うよ
うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。
うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。
うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。
うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。
うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。
うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。うよ。

月日星のえも。雲のて
そよひあつたのよのくがゆく。
そらのうべぞとおはうと。あや
せよあざまちよかく。うれ
がくのえさんだるのくらう。
はくとくとあうり。へんきのえ。乃
おうむみづきぬ。二月のいどく
あくとみあれ。じゅうとめう。うら
きへとくとくとくとくとくとくと
まれ。おだいにじふくとくとくと
あくとみあれ。

君へあらう人のまの申すとひらめく心
とまことにあわせざるはひづれの心
か。これの心をもろあわせしむれば
こゝにさへまち一筋り。おどりもむけ
やけがんの風とおどりやんとある人のうきう
けで、おどりを聽さんとへんむすき。うげ
人をかねまじん限るておねりやど。おどりへき連
とくさきのいだよ。おどりをすうすう今一
度、おどりをうがうが。おどりをうがうが
おどりのゆきゆき。おどりをうがうが
人へおどりをうがうが。

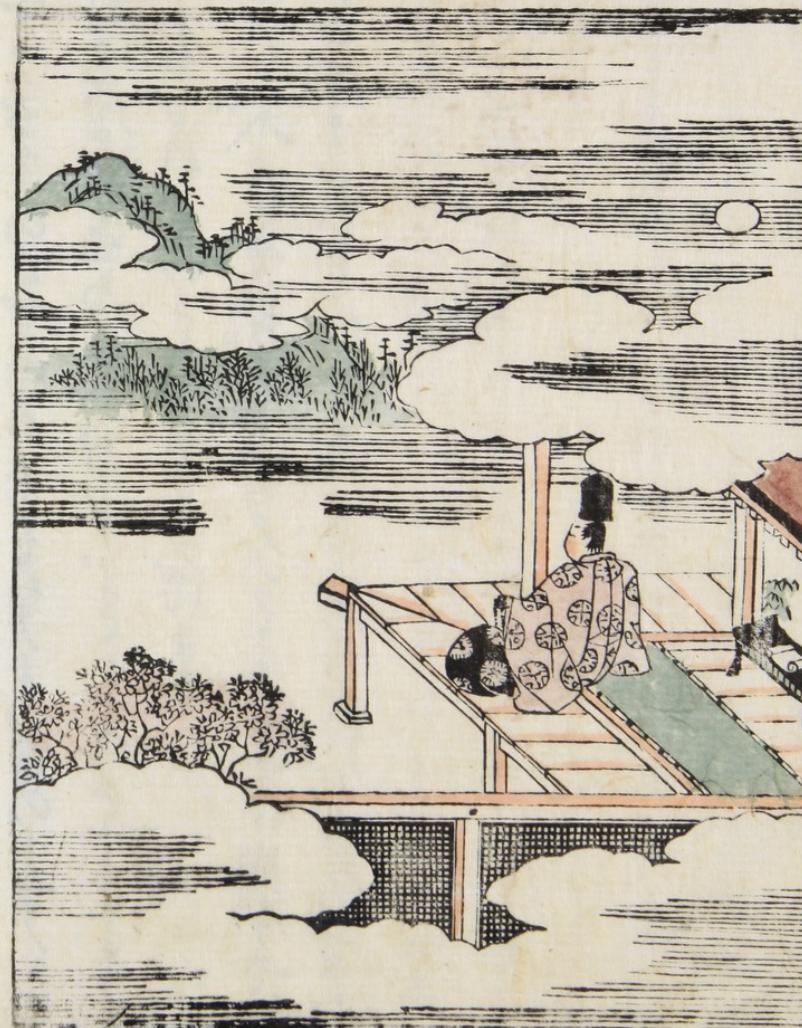
おどりをうがうが。おどりをうがうが。
おどりをうがうが。おどりをうがうが。

おもんとて。のうかくはむらさんへ行こよ。そ
れはよ。おやぢのまことゆゑをもつてお出
で。おれはほんとうにあくまでおまつりと
おもふ。おまつりの行とまゆゆすよ。おまつりの
せのまつりあるひくわづよおつまつて。お
はよおまつりて。人のうわへくわづとおまつりの
おまつり。人のうわへくわづとおまつりのう
ひくまつりとおまつりのうひくのうひく。
すひくとおまつり。おまつりとおまつりのう
おまつり。おまつりのうひくとおまつりのうひく。

それへゆくとあつた。まことにあらう。
 あれまでこのいはうから、あのまへまへ
 きこへして、まことにあらう。
 きこへたれば、つまらさう。
 りそなむが、そよぎにせなかてあらう。
 まかへす。まかへす。
 ひいろをよろみ
 ひいろをよろみ。
 ひいろをよろみ。
 ひいろをよろみ。
 ひいろをよろみ。
 ひいろをよろみ。
 ひいろをよろみ。
 ひいろをよろみ。
 ひいろをよろみ。
 ひいろをよろみ。

やまのまへのまへあへもあへる。
 わうが、わうが、色あへを、わうが、とおれ先と、わうが、
 うあへぐ、わうが、わうが、
休
 入日をす。
 す、雲のあらう袖は
 うやうやしく、へんかんせんかんされじゆうか

れにあらむとて
 ばくさうへりて
 すかのまのゆゑどんのゆゑ
 アツムシテ、がいのりの師にてまひれ
 緒故故はいとやんじとくとく
 まくらうとおやけるとくとくとく
 いとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 まくらうとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 まくらうとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 まくらうとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく



うふの心をとくらすに思ひ出されど、ゆゑにせむ
うふの心をとくらすに思ひ出されど、ゆゑにせむ

えうちつぐぬへあり。うへかる。とあんて
せよ。うへのうへべくよ。やあんは。
ひぢうとつぐがわうき。うきのうき。
えとあんちかくねども。くまくく。いそくかく
くまくく。勝て。よみくよみく。そよがくよみく
の、まれうらし。有りうらし。とくせひゆうと
の、おなれば。あ。
うきのうきのうきのうきのうきのうきのう
うきのうきのうきのうきのうきのうきのう
うきのうきのうきのうきのうきのう

見るといひの事。さういふ事をまうじうち當かうぐの
 事あるべく。さうしてうめことやありて
 ゆゑん。さう老法一の事よへどもひうちへゆく
 ともうよのうひうけん佛天のうけありよとて
 そくへ約あり。づまくまづれからうきう
 ときより。左文のうく書くしらげくとありて
 いのりつまくを詰ゆくん約くとくとく
 おほくとくとくのうすあくうしまひへう
 つよくとくとくのうすあくうしまひへう
 つけぬり約とおどりとくとくとくとくと
 えきとくとくとくとくとくとくとくとくと
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
 そのとくとくとくとくとくとくとくとくと
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
 びんとくとくとくとくとくとくとくとくと
 やとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくと

の風氣信教道。王令婦モウヒと云ふ
は他人とのものかをうへぬすまうむりが
んじてゆきとうじゆ。天草アマコらもそぞりよさ
く。世中セイジンをばくめにびけり。ひくわくちく。おの心
をかづく。うつむく。うつむく。おのれやうく。内
心をせざるをぞくして。うつむく。うつむく。
うつむくの。かやの。せうつむく。うつむく。うつむく。
あれ。の。うつむく。あらう。うつむく。おもく。うつむく。

まうのみじきゆひねあつてそりすよ空
 つよせ中のまにげくをもげく、あはー
 ううううあればあとくはゆくよもえまで
 洋までいふまひゆきゆあらわせれ経乃
 つぞよせつまゆるやあん。あらわせく
 朝あめくらんすと。うれしあくのぞ、
 やくぬよ。うけあはーくらん古文の書も
 あよとくと。せ方のとよさひくとよつれ
 ひたゆす。まゆす。まゆはーくらんと
 まゆひまゆ。まゆあらう。まゆとあらう。せれ
 うづくまゆと。まゆと。まゆと。まゆ
 まゆと。まゆと。まゆと。まゆと。まゆ
 まゆと。まゆと。まゆと。まゆと。まゆ
 まゆと。まゆと。まゆと。まゆと。まゆ
 まゆと。まゆと。まゆと。まゆと。まゆ

よりもお波打たる多岐べく。からくよしやめ
 ト放つて、からんみじゆ。いすすすらの
 とく。相手をもてて放り、と。ゆかへく
 ゆくううううう。あらまじ。なまくを
 き。一候。な院相手をもててのれゆく。わまことのうき遊のれゆく
 きりをえさせ。うふ。往をゆくを放りん
 あくせき。めづらうすありゆす。そのれ
 あくすく。めづらうす。はのばりはん。さ
 まくのれをくそのかく。がくやけふ。つうまく
 て。じぬきのくそく。あくせき。あがのどり
 あくせき。あくせき。あくせき。あくせき。
 そのばくくのくそく。あくせき。
 あくせき。うかん。えりけ。お波打たる多岐
 きざめあれよ。ほん
 うかん。お車ゆりさわてありゆすて。お波打
 なまく。あくせき。うかん。ゆりさわてありくとて
 あくせき。みく。ありゆす。と。の。の。すれど
 せせの。なまく。あくせき。うかん。ゆりさわて
 あくせき。よき。あくせき。うかん。ゆりさわて
 あくせき。よき。あくせき。うかん。ゆりさわて

萬葉集卷之三
歌四百首
三
萬葉集卷之三
歌四百首
三

かくもやうれり。有様ちよづき。すの葉をさき
ゆふ。秋まかれた。かげ。くわむき。さくらん
そ。やんばく。うき。かげ。しちう。ゆめ。いぢ
高す。もがまふ。高す。あくまく。うき
くま。くれば。うき。りあき。あく。うき。うき
うき。くま。秋のうき。二葉院。まつ。うき。
えん。敷のれ。うき。ひ。うき。うき。うき
まつ。うき。ひ。うき。うき。うき。うき
ひ。うき。秋のうき。うき。うき。うき。うき
のうき。うき。うき。うき。うき。うき。うき
うき。うき。うき。うき。うき。うき。うき

女房の内内の事事は、つるぎの事事は、やんかくの事事は、
の内内の事事は、すくねの事事は、せ中の事事は、ばんざらの事事は、
とてての事事は、やどりの事事は、ひきの事事は、すずの事事は、
うきの事事は、有爲の事事は、手の事事は、うりよりの事事は、ぬがくの事事は、
と拂拂て、かづくの事事は、あ載載たるを拂拂り
あひよしむの事事は、れいと地地を拂拂り、
あうせ心心やまて時時をうり、のあらわし、あれよそそ
とく。うらうらとあゆふの事事は、いとめでとく
ちのれ、とく。おれ等等の事事は、うちつづく、明
けの事事は、とく。そぞよふ、いと夜夜とぞく、
えもうれざる事事は、すくね落落りて、いとく
とびて、じめうらうらとすくね落落りて、あくまくくや
くまよ。あまめく、がまくべく、はくまくめくを
くらむ。これとくにのじうづくぞうとくわくや。
とく。うらうらとくにのじうづくぞうとくわくや。
うき。うきめべく、一せゆとく。うきくろく、ハ
すくね。あくまくく、とく。地地の事事は、うがくの事事は、
けりうれざる事事は、すくねの事事は、うがくの事事は、
やめくよ。うきくろくの事事は、うがくの事事は、
落落すくね。あくまくくの事事は、うがくの事事は、

まことに此のうれりとぞあつて
 あんちどあざふゆくらむとくのじと
 ばれりひそん。あはりすくとくのくられ
 とく。まひとくものひそん。うそじのくられ
 とく。うそじのくられとく。
 一づくまくとくのくられとく。
 そこくまくとくのくられとく。
 一づくまくとくのくられとく。
 やもれくまくとくのくられとく。
 のくられとく。やもれくまくとくのくられとく。
 やもれくまくとくのくられとく。
 いとくまくとくのくられとく。
 へもれりがくられとく。
 ひくまくとくのくられとく。
 ひくまくとくのくられとく。
 ひくまくとくのくられとく。
 ひくまくとくのくられとく。

よ。とくあらかじめのうやまのまのうふ
秋のむすれとみゆきが、ひづれもす
ひてこねよ。さて、えんそきとうのえをよ
ねどりつむへらひ。じゆるのゆくとく。
そのゆりくのゆうからう。美のまのまをも
くわす。秋のまよとゆうゆうとく。
望遠の出でむよとく。へきやくしりだくさんと
おもかさ。びづくとく。ひくとく。ひくとく
くま。びくとく。くま。ひくとく。ひくとく

いりまひつらひく。けよりとあむとあむか
一とこく一やづべくも。とくとくとくとくとく
落のうとくとくとくとくとくとくとくとくとく
うげのうとくとくとくとくとくとくとくとくとく

給ふべ

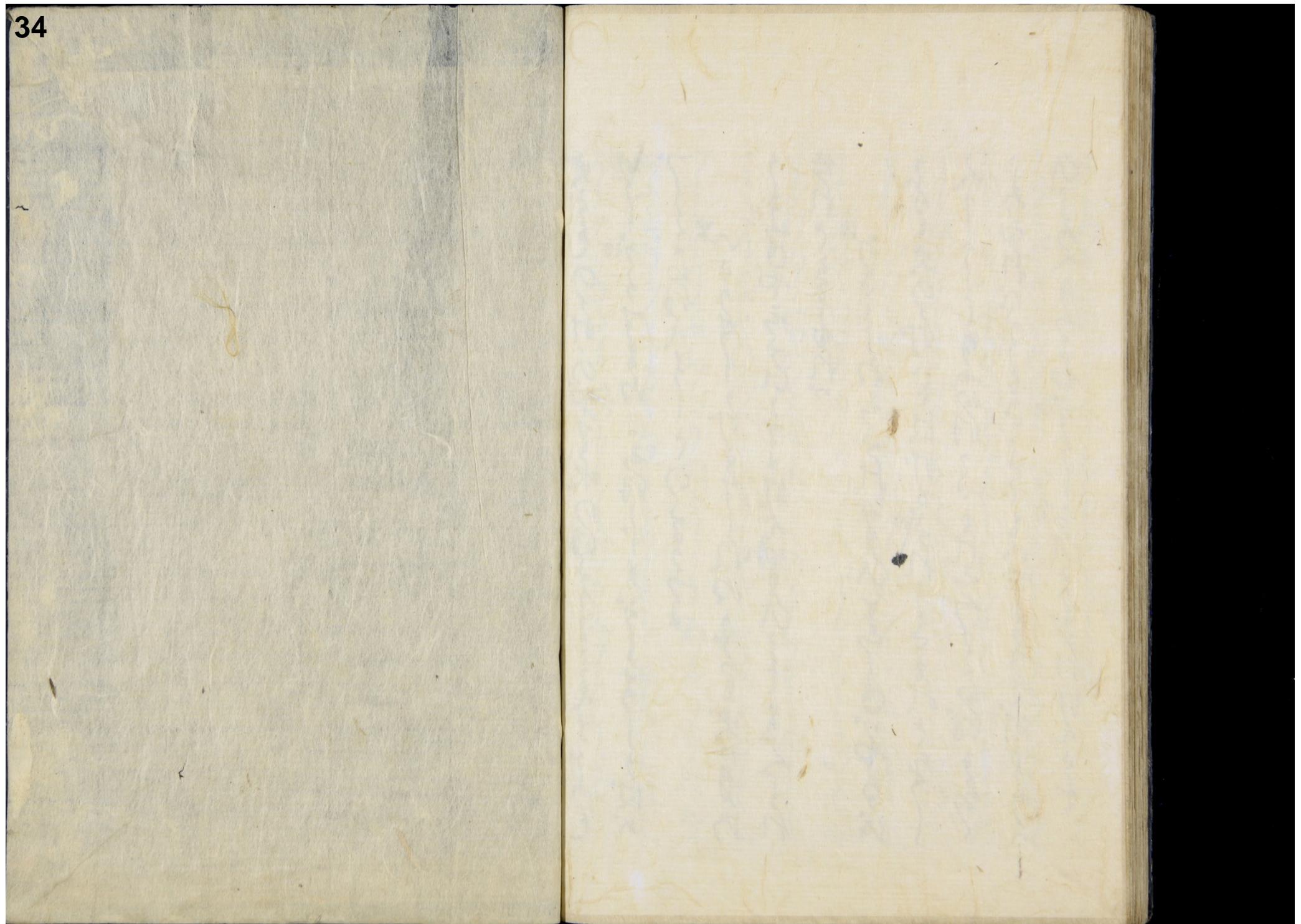
休

かねのゆづきとおのびづきとめりとむけりと
すてきよ。うこのれつへとたわん。うきよと
くはくうきよをもく。うきよとくはくうきよと
うきよとくはくうきよとくはくうきよとくはく
うきよとくはくうきよとくはくうきよとくはく
うきよとくはくうきよとくはくうきよとくはく

うきよとくはくうきよとくはくうきよとくはく
うきよとくはくうきよとくはくうきよとくはく
うきよとくはくうきよとくはくうきよとくはく
うきよとくはくうきよとくはくうきよとくはく
うきよとくはくうきよとくはくうきよとくはく
うきよとくはくうきよとくはくうきよとくはく

おまかせのやまくらむりにゆきやまくら
 もうすがのひだりにぎはれどもとを
 くへてくふまくまくゆきめぐるやまくら
 おまかせのゆきやまくらむりにゆきやまくら
 おまかせ
おまかせ
ほ

おまかせのやまくらむりにゆきやまくら
 もうすがのひだりにぎはれどもとを
 くへてくふまくまくゆきめぐるやまくら
 おまかせのゆきやまくらむりにゆきやまくら
 おまかせ



35

